



デジタルカメラやスマートフォンの普及で、ふとした時に写真が撮れるようになり、誰でも簡単に思い出を残すことができるようになりました。そんな思い出を形にする“スクラップブックング”。

たくさんのアイテムの中から、自分の気に入ったものやイメージに合ったものを選び、作り上げていく楽しさや、その作ったものを大切な人へプレゼントとして贈ることができるスクラップブックングについて、道具の説明から作り方をご紹介します。

あなたも世界でたったひとつの作品を作ってみませんか？

取材協力、情報・資料提供：Scrapbook Secrets / The Scrapbook Store

スクラップブックングの始まり

スクラップブックングは1980年代、アメリカのユタ州で家族との絆を表現するための方法として広がったクラフトの一つで、お気に入りや思い出の写真などを台紙の上にレイアウトしていき、飾り付けていくものとして始まったといわれています。今では、長期保存を念頭に置き、紙の劣化の原因となる酸を含んでいないアシッド・フリー（Acid Free）と呼ばれるものや、紫外線に反応しやすいリグニンという成分が含まれていないリグニン・フリー（Lignin Free）のものを使用することが推奨されています。

スクラップブックングの種類

スクラップブックングには、大きく分けて3種類あります。シンプルな初心者向けのものから、テクニックを要する上級者向けのものまで、自分のレベルに合った作り方が楽しめます。

ポケット・ページ

ポケットタイプのアルバムに、写真やイメージに合った飾りを入れていくもので、短い時間でも作成できます。初心者向けとなっています。



12インチ・スクラップブック

12インチ角の正方形で、最もポピュラーなスクラップブックです。初心者から中級者向けとなります。



オフ・ザ・ページ

書籍の表紙や写真立て、小物入れなどにエンベリッシュメント（P12、13参照）で飾りをあしらい、立体感を出します。上級者向けとなっています。

